1. 指定管理者名	多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (1) 市之倉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。
3. 業務の範囲	(2) 市之倉公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P164(利用率) 【利用率(全体)】 21.8% 【利用率(部屋別)】 大ホール:34.7% 研修室:22.5% 和室:13.8% 料理実習室:3.6% 陶芸室:5.6% 資料室:38.6% (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P165(利用人数) 【利用人数(全体)】 18,161人 (R1)30,483人 【利用人数(部屋別)】 年次報告書P165(利用人数) 大ホール:10,092人 研修室:3,207人 和室:1,214人 料理実習室:138人 陶芸室:267人 資料室:3,243人 (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P165~170(文化事業一覧) ①公民館まつり ・市之倉公民館文化祭 展示部門 300人 ステージ部門 300人 ②地域意識醸成事業 ・地域介護予防事業(ひだまり健康大学 8回 220人、イケメン健康塾 35回 740人、市之倉元気アップひろば 15回 263人) ・市之倉音楽ひろば 2回50人 ・親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業(市之倉・脳之島・養正3館合同事業 新型コロナに負けるな!「家族の日」3回33人、市之倉なかよしひろば2回45人、第10回新春書初め大会 33人) ・活性化委員の会事業(イルミネーション事業「青いエール」1,050人、夢ふうせん事業350人「絵本の福袋」30組 (市之倉ウォーキング大会、市之倉七夕ひろば、市之倉どんど大会、手話サロン、陶祖祭、市之倉夏祭り、陶の里フェスティバル、防災フェスティバルはコロナウイルス感染拡大防止のため地域共催団体が中止を決定)	仕様書以上 13点	・公民館文化祭は、様々な制約の中で“今できる”文化祭として規模を縮小して開催。感染対策を徹底し、1年間の集大成として、利用団体に作品や舞台の発表の場を提供できた。 ・川南の公民館3館合同企画「新型コロナに負けるな!家族の日」は、コロナ禍で遠出ができない中、公民館が大ホールを家族の遊び場として提供した。思い思いの過ごし方でリフレッシュしていただけるよう努めた。 ・医療従事者へ感謝の気持ちを伝えるため、ブルーライトアップのイルミネーションを実施。地域コミュニティの脆弱化が進む中、公民館と活性化委員が地域振興・活性化にも寄与できた。 ・児童センターとの共催事業「市之倉なかよしひろば」を5年間継続している。子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育てに関する相談や情報交換等を行う機会を提供できた。 ・活性化委員が、地域の祭りへの出店で得た収益で絵本の文庫「夢ふうせん」を運営している。本と親しむきっかけとして、子どもの居場所づくりにつなげることができ、新企画「絵本の福袋」は子どもたちに喜ばれた。 ・高齢者向けの3つの介護予防事業を実施し、地域課題と向き合っ高齢者の健康促進を図った。	13点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P171~177(文化事業一覧) ・心の交流事業(マスクPOST“集めて届けますく” 50人 コロナ川柳コンテスト19人) ・子ども対象事業(お菓子のメッセージボードを作ろう! 15人) ・成人対象事業 男塾:青空食堂開店! 五平餅、憧れの和菓子づくり「上用饅頭」、「イカめし」はイカがですか?、ほら、おいしい塩パンが焼きあがりました!、季節の和菓子づくり「簡単!美味しい!ふる一つ大福」料理講座…5講座 55人 ハワイアンリボンレイで作るピカケストラップ クラフト講座 15名 お正月の花飾り、新春を彩るアレンジ花 迎春講座…2講座 35人 大好き! バランスボール、自力整体で痛み・疲れをリセット 健康づくり講座…2講座 79人 100人で歌うなつかしの歌のつどい、エパちゃんの歌唱力UP講座 合唱講座…2講座 846人 ・コンサート 心にビタミン2コンサート 56人 ・ギャラリー愛 12展示 2,660人 (めざせ! きみは砂防マスターは、コロナウイルス感染拡大防止のため共催団体が中止を決定)	期待以上 12点	・プロの演奏家から気軽に音楽を聴いてもらいたいという提案があり、「心にビタミン2コンサート」は3年間継続して実施でき、定着されてきた。 ・感染対策のため公民館に集まらず、自宅で取り組める事業「コロナ川柳コンテスト」を実施。皆が感じている“今の思い”を共有する場をつくることができた。 ・公民館にマスクPOSTを設置してマスクを回収。善意のマスクを地域のグループホームに届ける取り組みは地域の方の共感を呼んだ。 ・平成22年度よりシニア男性の地域デビューを促し、生活や生きがいに結びつく講座「男塾」を継続。事業の継続で男性の公民館利用促進につなげられてきた。 ・スティホーム生活で料理を学びたいというニーズが高まったことから、感染対策を徹底し、郷土料理、パン、和菓子など多くの料理を楽しむ“場”をつくることができた。 ・「お正月の花飾り」、「新春を彩るアレンジ花」は他の公民館との合同事業だったため、定員に達した場合は他館を紹介するなど、同一の指定管理者ならではの連携がとられた。 ・住民が講師になり、今まで得意分野で培ってきた知識や技能を受講者に教授するスタイルを大切に、公民館が人と地域の架け橋となり人材発掘に努めている。	12点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P178(①清掃) 施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。部屋の使用が終わる度に、職員が机、椅子、ドアノブなど共有部分の消毒を実施している。	10点
			②保守・点検			年次報告書P178(②保守・点検) ・消防設備保守点検(基準:年2回)…年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)…年4回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P178(③保安・警備) 機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	職員による見回りを毎日朝、夕方、退館時に実施している。	
			④小規模修繕			年次報告書P179(④小規模修繕) 有償修理 全12件 総額 962,873円	適正(普通) 2点	女子トイレのタイルが浮き、鏡と一緒に落下したための修繕、卓球台の点検を実施し不具合部分を修繕するなど事故防止に努めた。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P179(⑤危険箇所の把握) ・朝夕の日常点検、お客様の声、館内会議、台風等の悪天候時の緊急点検で把握	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		(2)環境への配慮	①文書管理	6	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:4点、適正(普通):3点、一部不備あり:2点、不備あり:1点、不備あり:0点)	年次報告書P180(①文書管理) ・多治見市ファイリングシステムを導入し、業務の効率化を図っている。 ・フォルダー内は重複文書がないようにチェックし、必要最小限の文書を残すようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。情報を共有することで、担当者不在の時もスムーズに対応できている。	
②環境への配慮	年次報告書P180(②環境への配慮) ・網戸のない窓に網戸を、換気扇のない部屋には換気扇を取り付け、施設の環境を改善した。 ~コロナウイルス感染防止対策~ ①非接触型のサーモグラフィーカメラ、消毒噴霧器、ハンドソープを設置。②空気清浄機の数を増やした。③部屋の利用後、職員が机、椅子等の共有部分を消毒。④図書の本返却は3日間の待機期間後書架に戻した。 ~コスト削減への取り組み~ ①電話回線とインターネット回線の一本化を実現。通信コスト削減につながった。 ②図書電算化9年目。紙や印刷コスト、時間コストの削減につながった。 ③予防保全の観点から、修繕コストの削減を図るため、職員で公民館周辺の側溝の汚泥を除去した。 ④部屋にサーキュレーターを設置し、エアコンの効率も高め、消費電力を抑えた。		適正(普通) 2点			・古い施設だからこそ、誰もが使いやすい施設の実現をめざし環境整備に力を入れている。 ・コスト削減への取り組みも積極的に実施した。 ①電話とインターネットの契約を見直し、経費削減に寄与した。 ②図書の貸出・返却は、無料の管理システムソフトを用い9年。貸出・返却や蔵書検索にかかる時間を短縮でき、業務の効率と利用者の利便性が大幅に向上された。ペーパーレス化を推進することで印刷コストの削減ができた。 ③職員の手で、側溝にたまった汚泥を除去する作業を毎年実施。詰まる前に汚泥を除去し、予防保全の観点からコストの削減ができています。 ④消費電力に着目し、サーキュレーターを設置することでコスト削減が図られた。			

	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	③バリアフリー	9	(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②2項目の合計点とする。	<p>年次報告書P180(③バリアフリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の声が聞きづらいお客様のために、電子パット型筆談器を2台用意しタブレットを通して交流。 ・「市之倉なかよしひろば」では、託児サービスのバリアフリー対応を実施。 ・傷病や加齢等のため2階への荷物の上げ下ろしが困難な時、職員が声をかけ手伝っている。 	適正(普通) 2点	<ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーを“思いやり”“助け合い”と捉え、職員が真摯に取り組んでいる。 ・耳の遠い方や難聴の方のため電子パット型筆談器を用意し積極的に交流できた。 ・「市之倉なかよしひろば」では、安心して受講していただけるよう託児も実施した。 ・常に、バリアを感じている人の身になり、できることから改善している姿勢がみられる。 	10点	
		④備品管理		<p>年次報告書P181(④備品管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の定員が変更になり、お客様は大きな部屋へ移動。対応として必要な備品を積極的に購入。 ・お客様の安全性や利便性サービスの向上につながる備品を積極的に購入した。 ・お客様の安全性や利便性サービスの向上につながる備品を積極的に購入した。 ・写真と保管場所の情報を加えた市之倉公民館独自の備品台帳を作成した。 ・各部屋に備わっている備品をまとめた部屋別備品台帳を作成して問合せに対応。 ・安心して利用していただくため、定期的に机やミラーのねじの緩みチェックを実施。 	適正(普通) 2点	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限のため部屋の移動を余儀なくされたお客様のため備品を揃えた。 ・事故防止に努め、卓球台の更新や点検を実施し、不具合部分を修繕した。 ・独自の備品台帳の作成により、どんな備品が揃っているのか一目で分かる。 ・部屋別備品台帳は、職員が同じ台帳に基づき同じ案内ができるように作成した。 			
		⑤個人情報保護		<p>年次報告書P181(⑤個人情報保護)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用の案内板には、特定の個人を識別できないよう配慮している。 ・公民館だよりやブログに利用者の顔写真を掲載する時は本人の許諾を得ている。 ・子どもの顔写真掲載の可否は、講座申込書に確認欄を設け保護者から聞き取っている。 ・定期利用団体の代表者や講師への問合せは、その都度ご本人に対応を確認し、処理している。 	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑥事故等への対応		0	<p>年次報告書P181(⑥事故等への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長雨で地区事務所北側の土砂崩れ…土地の所有者である市之倉地域振興会が修復。 ・利用者が倒れ公民館から救急車を要請…治療を受け容体は回復。その日に家に帰ることができた。 	事故なし・対応に不備なし 0点	適切な対応ができています。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入19,333,960円÷支出20,696,917円=93%	100%未満 3点		3点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	<p>年次報告書P183【管理面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆研修室を利用してダンスサークルの多くが大ホールへ移動し、ダンス用可動式ミラーがほしい。 →研修室に設置してある同タイプの可動式ミラーを5枚購入した。 ◆地域の会議なども研修室から大ホールへ移動し、キャスターつき机が大ホールにほしい。 →キャスターつき机を15本購入し、セッティングが楽になったと喜ばれた。 ◆大ホールのドアを全開にしているため、目隠しのためにキャスターつき衝立がほしい。 →2台購入し大ホールに設置。キャスターつきで移動が楽になったと喜ばれた。 ◆20年近く使用のセパレート式卓球台を処分。次に購入する場合は内折れ式がほしい。 →要望に応え、内折れ式卓球台を購入し喜ばれた。 <p>【事業面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中止講座がわかるように月間事業カレンダーをロビーに掲示してほしい。 →コロナ禍で中止した講座が分かるように、月間事業カレンダーをロビーに掲示した。 ◇合唱講座では飛沫防止用に一人ずつパーテーションがあるといい。 →安心して受講できるよう、講師と全受講生の前にパーテーションを設置した。 ◇例年通りイルミネーションを飾ってほしい。→医療従事者に感謝し「ブルーライトアップ」を実施。 	期待以上 9点	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の声に対して丁寧に対応し、より良い方向への要望実現に努力している。 ・コロナ禍で、使用料の高い部屋へ移動となった利用者の要望(可動式ミラー、キャスターつき机・キャスターつき衝立の購入)に応え、納得・満足をしていただいた。 ・安全面を考え、古くなったセパレート式卓球台を処分し、全ての卓球台を内折れ式にした結果、卓球の利用者が増加。車椅子卓球の利用者も増加した。 ・マスク着用による運動系の講座での熱中症の危険を回避するため、マウスシールドを販売してほしいという要望を受け、希望する受講者に販売し安心な受講につなげた。 ・合唱講座では飛沫防止用に一人ずつパーテーションを用意した結果、安心して受講できると評判を呼び、市外からの受講者も増加した。 ・コロナ禍で中止を決めたイルミネーションについて、「こんな時だからこそ」という地域の声に応えて「ブルーライトアップ」を実施。地域の活性化の一翼としてH15年より継続しているイルミネーションであり、市之倉の冬の風物詩として地域振興に寄与している。 	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	<p>年次報告書P183 公民館だよりの誤配が2件あり、本来配布されるはずの広報係より「配達を仕事としている配送会社がなぜ間違えるのか」という苦情が入った。公民館から深くお詫びをし、配達業者には起こった事実を報告した。以後の誤配は無し。</p>	適正(普通) 4点	適切な対応ができています。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	<p>年次報告書P184【より良い施設運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理実習室の、調理台のシンクとガス台に蓋をした。試食テーブルの幅は約2倍に広がった。 ・網戸のない窓に網戸を、換気扇のない部屋に換気扇を設置。他、換気扇3台を買って替えた。 ・コロナ対策として、非接触型のサーモグラフィカメラや消毒液噴霧器、ハンドソープを設置した。 ・職員はおしゃれなマスクを作り安価で販売。飛沫感染防止のためのパーテーションも作り設置した。 ・ホームページの中にブログを設置。事業の活動報告や公民館で起きた出来事などを掲載した。 ・「おもてなしの心」「感謝の心」を大切に接遇力の向上を図る。 <p>【事業実施のための提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の社会教育関係者と一緒に考えるオンライン情報交換会に参加し、新規事業を考えた。 ・開けてからの楽しみ「絵本の福袋」の貸出をした。帰省ができなかった子どもが喜んでくれた。 ・コロナ禍だからあきらめるのではなく、コロナ禍の今、できることを考え、新規事業を実施した。 ・利用促進のため、定年を機に家にいる機会が多くなった男性に“人生の2学期講座”を実施した。 ・災害時、子どもも地域の力となることを期待し、体験型子ども防災ワークショップを実施する。 ・地域住民向けに防災事業を実施して、地域の防災力を高めることをめざす。 	期待以上 12点	<ul style="list-style-type: none"> ・料理実習室の調理台に耐水性のある蓋をすることで、試食時に隣同士の距離が保てるだけでなく、会議など料理以外の利用も可能とした。 ・コロナ禍でも公民館を訪れる利用者に対して力になろうとする想いのもと、日々の業務に邁進し、努力している。 ・コロナ禍だからできる事業やサービスを考え実施。事業の希少性や共感性を広報した結果、メディアからの取材が前年度より多く、新たな交流も生まれた。 ・自分の時間を持つことで充足感が生まれる企画として男塾を11年間継続。“地域デビュー”や“公民館デビュー”を応援し、男性の利用促進につなげていった。 ・高齢者の健康づくり事業は、高齢者にとって公民館が生きがいの源泉となり、交流の場となっている。 ・災害時に頼る大人がいなくても、冷静に自分で自分を守る子どもの育成を願い、子ども防災事業の充実を図っていく。 ・地域住民向けに防災事業を計画。行政による公助ばかりでなく、地域における共助の取り組みが大切であることを学び、地域の防災力を高めることをめざす。 	12点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点	
		合計	##	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			<p>全体的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情やニーズの把握に努め、課題に応える事業を実施できている。 ・「新たな公共」を視野に入れ、NPO法人や国の機関と連携し、低予算で国が持つ学習資源を積極的に生かす事業を展開できている。 ・地域の施設と互恵互助の精神で連携し、公民館が子育ての拠点となる事業を展開できた。 ・利用者と公民館、双方にとって安心して心地よい施設運営ができています。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 	合計81点 良好	